



No 62

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyō
Elementary School

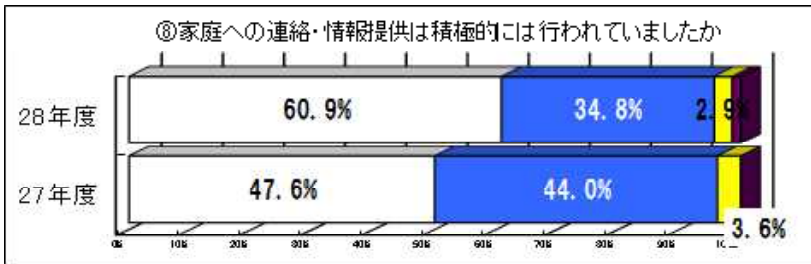
<http://www.taisyō.obihirō.ed.jp>

平成28年12月22日

12月下旬としては、日中も最高気温がプラスになるなど、体調管理の難しさを感じているところです。明日から26日間の冬休みに入ります。生活リズムを整えて、有意義な時間を過ごしてくれることを願っています。さて、今号では前号に引き続き平成28年度『保護者アンケート』の集計結果や子どもたちの頑張りを中心にお伝えします。

保護者アンケートの集計結果 その2

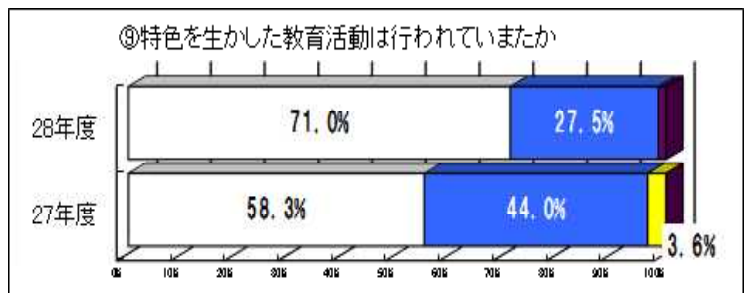
今回は「保護者から見た学校像」についてです。それぞれの項目について昨年度のものと比較しながらお伝えします。



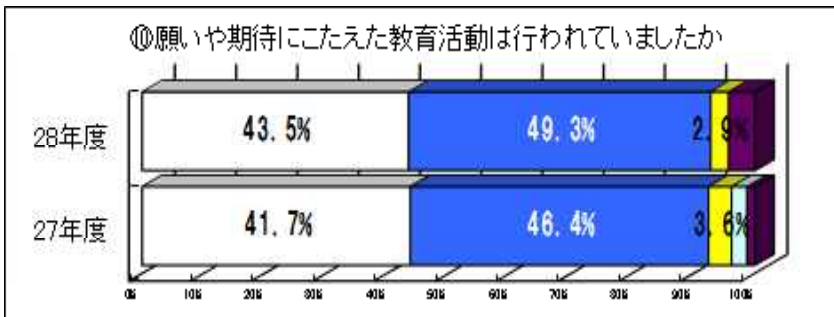
家庭への連絡・情報提供については、「あまり思わない」の割合が減少傾向にあることから、情報提供については、昨年度と同様に一応の成果があったと考えます。また、家庭への連絡も**すぐメール等**を活用し、迅速で正確に情報をお伝えしていきます。冬休み期間も活用を考えております。

特色を生かした教育活動は、「とても思う」が、昨年度より高い結果となりました。本校の特色ある教育活動は、地域と連携した取組にあります。帯広市教育委員会の進める『おびひろっ子支援事業』や『学校支援地域本部事業』等の取組が浸透していると考えます。今後も保護者・地域の方々のお力添えをいただきながら子どもに身につけさせたい力を明確にして展開していきます。

また、地域行事(冬の遊びの集い等)にも積極的に参加させていきたいと考えています。

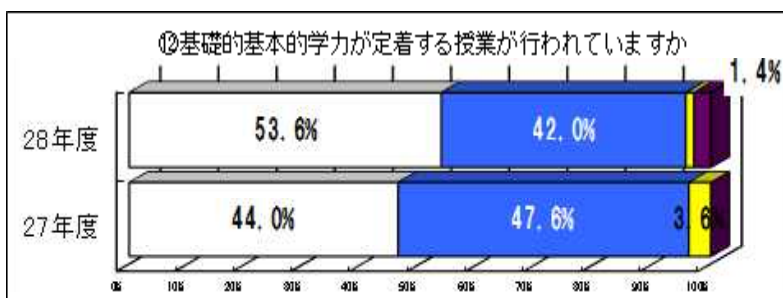
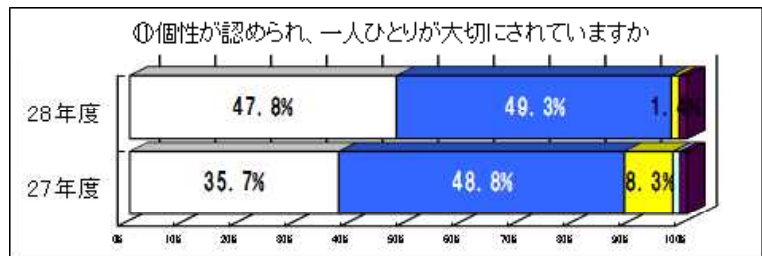


保護者の願いや期待に応えた教育活動については、「とても思う」の割合が微増傾向にあり、「まったく思わない」の回答はありませんでした。今後もこれまで以上に地域保護者の皆様の願いを幅広く受け止め、改善すべきところは正していきます。また、昨年度より3回のアンケートを実施していますが、あらゆる機会を通して皆様の願いや要望等を吸収できるように努めます。アンケートに限らず、ご意見・要望等をお聞かせください。



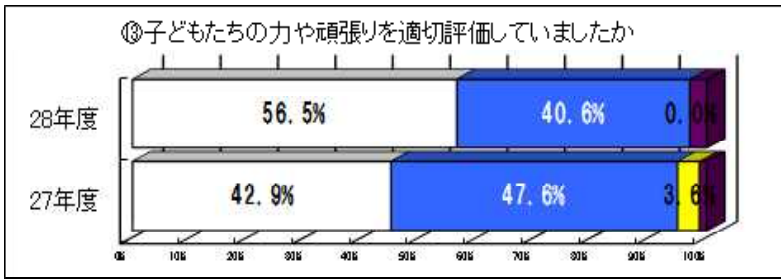
「一人ひとりを大切にされた教育活動」については、昨年度に比べ「とても思う」、「わりに思う」の回答が増加しています。

今後は、これまで以上に、子どもの個性を認める、必要に応じて叱咤激励をするなど、子どもに寄り添った係わりを持ちながら、保護者の皆様と連携を図り、児童一人ひとりが大切にされていると感じることができるよう教育活動を推進していきます。



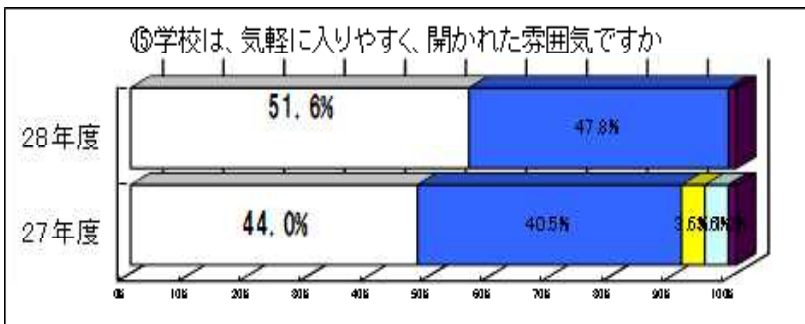
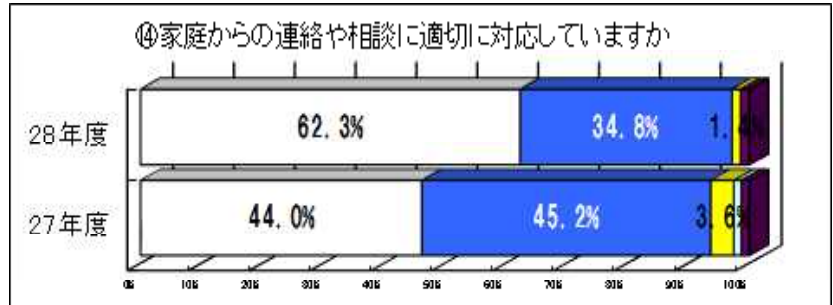
基礎的基本的学力が定着する授業については、「とても思う」「わりに思う」を合わせ、昨年度を上回っています。今後は、授業改善策として、授業の**課題を明確(見通しをもたせる)**にし、**終末での振り返り**をきちんと行うことで学習内容をしっかりと定着させたいと考えています。また、これまででもお願いしておりますが、家庭学習の時間の確保や内容の充実を図りながら学力の向上につなげていきます。

裏面に続く



子どもの力や頑張りを適切に評価することについては、「とても思う」の割合は増えているものの全体的に昨年度を下回る結果となりました。今後も、子ども達がこれまで以上に自己達成感や自己肯定感を感じられるように日々の声かけを大切にしていきます。子どもの頑張りを肯定的に受け入れ、子どもの自己肯定感を高めることができるような関わりを大切にしていきます。

家庭からの連絡や相談の対応については、「とても思う」の割合が大きく増加しています。「わりに思う」とあわせて昨年を上回る結果となりました。今後も、連絡や相談をいただいた際は、迅速にかつ誠意をもって対応していくように努めます。また、一人ひとりの児童の様子に目を配りながら、学校からも連絡や相談を入れさせていただきます。



開かれた雰囲気の学校については、「とても思う」「わりに思う」を合わせた割合は、昨年度を大きく上回る結果となりました。今後も、より一層、教職員一人ひとりが保護者の皆様とのコミュニケーションを大切に、要望や相談などについて気軽に話していただけるような雰囲気づくりに努めます。また、「学校だより」や「学級通信」などで情報をタイムリーかつ、迅速に発信し、学校としての考えなどをより理解していただけるよう努めます。

保護者アンケートを通して

昨年度に続き、今年度も学校評価アンケートを1学期末、2学期末、2月中旬と年に3回実施します。今回は、中間報告的な要素をもたせています。前回(1学期実施分)と比較してみると平均値を下げたものもあり、学校の思いや考えと保護者の皆さんの願いや思いが必ずしも一つではない等の実態も見えています。

今回のアンケート結果を謙虚に見つめ、改めるべき点は、目に見える形で改善につなげていきます。現在の学校教育は、学校だけでその営みを完結できるものではありません。保護者の皆さんや地域の方々の『大正の子は大正で育てる』という熱い思いをいただきながら、学校を動かしてきました。今回、皆さんからいただいたご意見や要望をすべてを紹介することはできませんが、より多くのものを目に見える形で改善につなげていけるように努めます。

最後になりますが、地域保護者の皆様に力強く支えていただいていることに感謝の気持ちをもつとともに、今後の本校の発展に向け、成果と課題を明らかにし、教職員力を合わせしっかりと邁進していきたいと考えております。

また、お気づきのことがありましたら、学校まで遠慮なくお話しください。今後とも、よりよい学校を創り上げる取組にご理解とご協力をお願い申し上げます。

がんばる大正っ子 ～その輝きによせて～

第26回とかち・ひだか児童版画コンクールより

バレーボール少年団 見事W優勝！！3連覇

第26回とかち・ひだか児童版画コンクールに本校1年生が図工の授業で取組んだ作品(紙版画)を応募し、5名の児童が入賞しました。



12月6日に行われたバレーボール第32回三校交流大会で、A・Bチームとともに優勝しました。これまで、チーム一丸となって練習を重ねてきました。これからもプレイオフ杯や勝毎新人戦など

まだまだ大会は続くのとのこと。今回の優勝をステップにして、さらなる高みを目指してくれることを期待しています。

入賞者は
 銀賞 I・Hさん 「おにぎりをたべているぼく」
 銅賞 T・Kさん 「おにぎりをたべているぼく」
 N・Sさん「ドーナツをたべているわたし」
 K・Mさん「ピザをたべているわたし」
 佳作 Y・Tさん「おにぎりをたべているぼく」
 の5名のみなさんです。作品の展示期間は1月7日(土)～1月15日(日)、時間は、平日が9:30～18:00、休日が10:00～17:00までとなっています。会場は日専連ビル1階です。

*特選～銅賞までの展示となるそうです。

体罰に関するアンケートの回答をお願いします。提出締め切りは1月19日(木)です。